



ファーム・インさぎ山

すわの

(有限会社諏訪野)

[埼玉県：活動期間25年]

「今だからこそ 農のあるくらしを体験してみませんか？」

都市にあって
農業・農のあるくらしに触れる

かつては「野田のさぎ山」と言われていましたが、環境変化により鷺が営巣しなくなったこの地で、農のあるくらしをテーマに環境との共存・共生を目指し、食や自然の大切さを学ぶ農業体験を継続して行っています。参加者は農業体験を通して、採れたての本物の味を知り、収穫した野菜には色々な個性があることに気づき、その体験から多様性を学び、社会生活につながることを知ることができます。



保育園児の収穫体験

中学生のみんなと
夏野菜の草取り

農業体験の場を提供

企業と連携し、障がいのある人に対し農業体験の場を提供しています。ゴムボートやブルーシートを活用し、車椅子の人も水田に入って田植えを行っています。農作業を共に行うことで、土いじりや作物作りの楽しさを体験してもらうとともに、障がいのある人とない人の交流の場ともなっています。また、埼玉県警少年課と連携し、少年たちの立ち直り支援の場を提供しています。農業体験を通して自信を持ってもらい社会復帰につなげるなど、社会福祉にも貢献しています。



ゴムボートで田植え体験の様子

動画を活用した体験の事前学習

農業体験の作業内容について、あらかじめ動画を作成し、団体の体験を受け入れる際には、事前に、その動画を視聴してもらい、イメージを共有化した上で体験に参加してもらうことにより、密にならずに効率よく農業体験を行うことができます。SNSを活用した体験参加の募集やオンライン講座も開始し、好評を得ています。



農園から配信



「食育は農業体験から」と農村女性の立場から活動して参りました。震災、コロナと様々な事が起こる時代ですが、農こそ、食・教育・環境・福祉等の社会問題を包み込む力があると信じ、農村文化を発信しながら食育に取り組んで参ります。

ファーム・インさぎ山

あいなんちょう

愛南町ぎょしょく普及推進協議会

[愛媛県：活動期間16年]

新型コロナ等による社会環境変化にも DXで持続可能になるぎょしょく教育活動

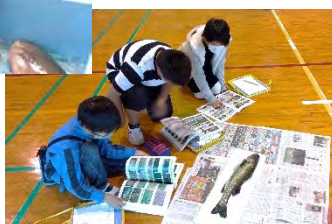
* DX（デジタルトランスフォーメーション）：デジタル技術による変革

町ぐるみで7つのぎょしょくを推進

7つのぎょしょく（魚に触れる魚触、魚の生態や栄養を学ぶ魚色、獲る漁業を学ぶ魚職、育てる漁業を学ぶ魚殖、伝統的な魚文化を学ぶ魚飾、魚を取り巻く環境を学ぶ魚植、魚の味を知る魚食）により小中学校などの授業や行事で、産地と消費地の相互交流を図っています。愛南ぎょレンジャーという親しみやすいキャラクターを活用し、子供たちにも分かりやすくぎょしょくを伝えていきます。



7つのぎょしょく
（魚に触れる魚触）



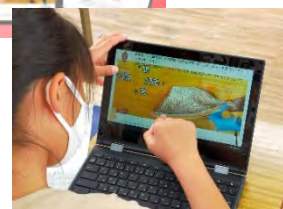
この魚なんて名前だろう？

魚をさばく疑似体験で 興味を引き出す

ぎょしょく教育の出前授業などでわかりやすく伝えるためのDXのひとつとして、アプリケーションによる「真鯛の3枚おろしに挑戦」を制作しました。子供たちが、ひとりで何回でも疑似体験を行うことができ、「本物の鯛をおろしてみたい」という興味を引き出し、学びにつなげています。



疑似体験アプリケーション



パソコンで3枚おろしを体験

社会環境の変化に対応した ぎょしょく教育

愛南町の小中学校では、情報端末が1人に1台導入されています。それを活用し、ホームページを充実させていつでも学べる環境を整えるほか、動画やアプリケーションを効果的に使用することで、楽しみながらぎょしょく教育を推進しています。



タブレット端末を使った
授業の様子



この度は我々の活動を評価していただき、誠にありがとうございます。町内の小中学校に導入された情報端末の利用や、リモートによる遠隔授業など、時代のニーズに併せつつ今後も積極的に活動していきたいと思います。

愛南町ぎょしょく普及推進協議会
会長 竹田 英則

株式会社須藤牧場

〔千葉県：活動期間30年〕

酪農家による酪農体験とオリジナル野外劇の上演で、
全ての人へ食と命の大切さを伝える

地域の子供や大人たちと演じる 「命・食」にまつわる野外劇

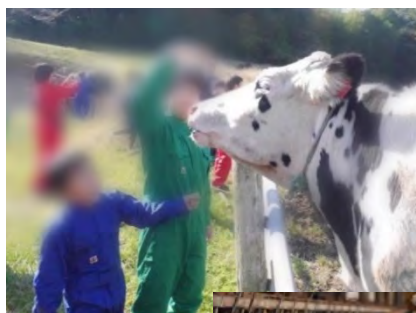
牧場の中にある野外劇場で、年に1度野外劇を上演。酪農家が自身の経験を生かした「命・食」にまつわる脚本を書き、地域の子供や大人たちと演じています。そのユニークさから多くのメディアに取り上げられ、全国から来場いただいています。牛の一生や酪農家の仕事を芸術的に伝えることで、より人々の心に残る食育を目指しています。



野外劇場の様子

酪農体験・食育活動実施

酪農教育ファーム活動として体験の受け入れや食育活動を行っており、全国の食育イベントにも参加しています。劇の来場者には、観劇後に酪農体験を実施することで、より強く「命・食」への意識を高めるよう工夫しています。



酪農体験の様子
牛って大きいな！



劇の役者が酪農体験

地域住民ボランティアが食育発信者に

演劇活動では、年々地域住民の参加が増えています。劇が持つ「作ることの充実度が高い」という特徴を活かし、今後さらに地域住民の参加を募集し、より大人数での公演を行うことを目指しています。それにより食育を受信する人の数を増やすだけでなく、自然に食育を発信する人の数を増やしていくことが目標であり、それを地域住民の生きがい創出へつなげることで、持続可能性を高める狙いがあります。



地域住民参加の野外劇場



栄えある賞を賜り深謝申し上げます。支えてくださった皆様、そして体験活動の継続に不可欠でありました畜産業仲間、学校関係者の方々のおかげです。今後とも生産現場ならではの食育を考え精進してまいります。

株式会社須藤牧場



農業生産法人

株式会社オルタナティブファーム宮古

[沖縄県：活動期間5年]

畑（サトウキビ）～食卓（お砂糖）まで！
五感を使って「美味しく・楽しく・学ぶ」食の循環

観光と結びついた体験の提供

一般観光客や団体向けに、宮古島の畑で実施するプログラムを1日3回・通年開催しています。食育プログラムに参加いただき五感を通じて美味しく・楽しく・学ぶことで、日常生活に身近な砂糖とバナナについて、食材への理解と感謝の気持ちを育み、食生活に対する関心の向上につなげています。



サトウキビの収穫



サトウキビジュースの試飲

現地開催と同様の食育プログラムの提供を目指して

オンライン開催で距離が離れていても、現地開催と同様に食育プログラムとしての価値を提供できるように様々な工夫を凝らしています。参加型を意識して体験キットを使うことを基本とし、植え付け体験したサトウキビの苗は、その後1年間かけて栽培フォローを行っています。高校生向けにはSDGsの観点での取組紹介、一般向けには科学・歴史・生物・地理・経済など、様々な切り口でサトウキビ栽培～製糖の話題を提供しています。双方向的コミュニケーション、没入感の演出、冒頭に宮古島の紀行・文化の紹介を入れるなどの工夫も行っています。



「お家でリモート農体験」の体験キット

オンラインのメリットを活かして

コロナ禍で移動自粛が求められる中、オンラインでの体験型の食育プログラムを開始。距離（遠路宮古島に来るための予算・時間が不要）・会場（大会場が不要）・参加人数などの制約を受けず、広く食育活動を普及できるツールとして力を入れています。幼稚園児・小学生・大学生向けのオンライン食育プログラムも行っています。



オンライン接続確認

宮古島から
オンライン中継！



オンライン体験の特徴を活かして、例えば多拠点を接続しての、①島内の農漁業の複数事業者が連携したプログラム提供や、②宮古島と県外の学校間交流の企画など、まだまだ可能性は広がると思っています。

農業生産法人
株式会社オルタナティブファーム宮古
松本 克也



第6回食育活動表彰
農林水産大臣賞

教育関係者・事業者部門【企業の部】

農林水産大臣賞

キューピー株式会社

〔東京都：活動期間60年〕

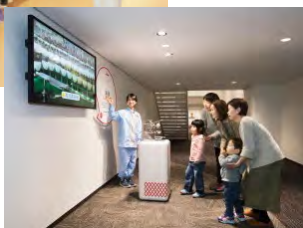
オープンキッチン（工場見学）、マヨテラス（見学施設）、マヨネーズ教室（小学校出前授業）、食に関する講演会活動、食に関する動画配布、食育サイト等、多様な食育活動

食を通じて社会に貢献する

「食を通じて社会に貢献する」という精神のもと、健やかな食生活の実現を目指し食の大切さ・楽しさを伝える重要な活動として、小学校の社会科学習のために工場見学を開始。「食品工場は家庭の台所の延長であるべきだ」との考えから「オープンキッチン」と呼び、60年にわたり継続してきました。



マヨネーズの製造工程を見学



たくさんの卵を割る様子を見学

食の大切さと楽しさを伝える

全国の小学生を対象に出前授業を実施しています。食の大切さと楽しさを伝えることを目的に「マヨスター」が全国の小学校を訪れます。授業では、マヨネーズのひみつや野菜を摂ることの大切さについて学び、マヨネーズの手づくり体験を行っています。全国を対象にオンラインでの実施も開始しています。



子供たちがマヨネーズについて楽しんで学ぶ



マヨネーズ手づくり体験の様子

これからの活動を継続するための工夫

オンラインでの工場見学やマヨネーズ教室、講演会、食育イベントなど、子供たちが参加しやすい環境づくりを心掛けています。オンライン工場見学では、幼児～大人を対象に、「離乳食教室」や「SDGsって?!」「たまご教室」など10種類以上のコースを準備し、何度でも参加したくなるよう工夫を重ね、参加者の反応を見ながら内容を随時進化させています。



オンライン参加者

食の大切さを伝えるために日々奮闘



栄えある賞をいただき、嬉しい限りです。これからもキューピーグループでは、さまざまな世代に寄り添った食体験の場づくりや、食生活に関する情報発信などを通じて心と体の健康支援を行い、たくさんの笑顔につなげていきたいと考えています。

キューピー株式会社
広報担当 一同

株式会社ニチレイフーズ

〔東京都：活動期間10年〕

従来の食育活動に加えて、近年の様々な要望に応えた、
遠隔地・離島向け、各種の児童養護施設など、
教育弱者・生活弱者への支援を目指した新たな食育活動

寄り添える 心のこもった支援を目指す

ニチレイフーズの食育活動は、当社独自の「ハミダス活動」を通じて、経営層と従業員の「共感と信頼」を大切に、業務として誰でも参加できる社会貢献活動の一環として推進しており、従業員の自己啓発、満足感にもつながっています。当社では、食育活動の実施回数や参加人数にはあまりこだわらずに、従来の食育活動に加えて、近年の様々な要望に応えた、遠隔地・離島向け、各種の児童養護施設など、教育弱者・生活弱者へ寄り添うことのできる心のこもった支援を目指し、食育活動を継続して実施しています。



笑顔いっぱい
イベントの様子



シニア向け講座の様子

静岡大学プロ学と連携した オンラインでの食育支援

静岡大学のプロ学と連携し授業内容の見直しを行い、より質の高いプログラムを目指しています。授業の前に小学校の担当教諭、当社、プロ学で詳細な打ち合わせを行い、充実した授業を実現しています。

プロ学：静岡大学ベンチャー企業（一般社団法人
プロフェッショナルをすべての学校に）



遠隔授業の様子

新チャートンの発表！



オンライン授業（工場見学）

社内講師役の育成や、静岡大学のプロ学との出会いにより、離島や過疎地対策としてオンライン授業の共同研究が進み、新型コロナの発生以降は、従来のリアルでの対応から、当社独自のオンラインでの食育授業を展開することができました。そのノウハウを活用して、従来のリアルからオンラインでの食育授業へ切り替え、教育現場での問題解決及び支援にもつなげることができました。



オンライン工場見学



栄えある受賞有難うございます。
これからもニチレイフーズ独自のハミダス活動を通じて、子供からシニアまで幅広い年齢層を対象に、従業員はもちろん、社会にとっても良い会社を目指してまいります。

ハミダス推進部 一同